安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品の名称	: 外装わら聚楽(わら抜き)
製品コード	: 01099301A
会社名	: フジワラ化学株式会社
住所	: 〒799-1342 愛媛県西条市大新田94
担当部門	: フジワラ化学株式会社 社長室
作成者	: 矢野正徳
電話番号	: 0898-64-2421
FAX番号	: 0898-64-4034
E-mail	: info@fujiwara-chemical.co.jp
緊急連絡先	: 担当部門に同じ
製品の種類	: 外装用仕上塗材
推奨用途及び使用上の制限	: 遠赤外線放射性セラミックス配合砂物聚楽

2. 危険有害性の要約

分類の名称(分類基準は日本方式) : 該当しない

【GHS分類】

物理化学的危険性		: 区分に該当しない
急性毒性	経口	: 区分に該当しない
	経皮	: 区分に該当しない
	吸入:ガス	: 区分に該当しない
	吸入:蒸気	: 区分に該当しない
	吸入:粉塵, ミスト	: 区分に該当しない
皮膚刺激/腐食性		: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 区分に該当しない
呼吸器感作性	個体/液体	: 区分に該当しない
	気体	: 区分に該当しない
皮膚感作性		: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性		: 区分に該当しない
発がん性		: 区分1
生殖毒性		: 区分に該当しない
授乳に対する, または授乳を介した影響に関する追加		: 区分に該当しない
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)		: 区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)		: 区分1
誤えん有害性		: 区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)		: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)		: 区分に該当しない
オゾン層への有害性		: 区分に該当しない

【GHSラベル要素】

・



危 険

【危険有害性情報】

・ 発がんのおそれ
・ 臓器(呼吸器系)の障害
・ 長期ないし反復暴露による臓器(腎臓、呼吸器系)の障害

安全データシート(SDS)

【注意書き】

(予防策)

・使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・必要に応じて個人用保護具を使用すること。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・取り扱い後はよく手を洗うこと。
・粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(応急措置)

・暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
・暴露した場合:医師に連絡すること。
・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

(保管)

・密閉して換気の良い場所で湿気対策を行い、施錠して保管すること。

(廃棄)

・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

より詳細な情報は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

《ご注意》

この壁材(材料)は、特に安全性の高い原材料を使用して製造されていますが、より安全にご使用いただくために、下記の点にご注意ください。

・粉塵が発生する場合には、防塵マスクを着用してください。
・誤って食べたり、飲んだりしないようにご注意ください。
・万一飲み込んでしまった場合は、すぐに医者の指示に従ってください。
・作業中、材料が眼に入った場合は、すぐに多量の水で洗い流し、医者の指示に従ってください。
・作業後は、十分に手を洗ってください。
・保管は直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、および凍結の恐れのある場所を避け、子供が手を触れないように十分にご注意ください。
・残った材料や廃液を河川や廃水パイプに流さないでください。
・不燃ゴミとして廃棄してください。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	化学式	含有量	官報公示No(化審法)	CAS No.	備考
着色砂		60-70%			
(着色砂中)					
二酸化珪素(Quartz)	SiO_2	<60%	1-548	14808-60-7	労働安全衛生法 通知対象物質No. 312
二酸化チタン(Titanium dioxide)	TiO_2	1%	1-558	13463-67-7	労働安全衛生法 通知対象物質No. 191
その他補助材等		(非公開)			
硅砂(シリカ)		20-30%	1-548	14808-60-7	労働安全衛生法 通知対象物質No. 312
糊材		<1%			
その他補助材等		(非公開)			
接着剤(水系アクリル樹脂)		13%			

安全データシート(SDS)

4. 応急措置

吸入した場合
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合
- 付着物を布にてすばやくふき取る。
- 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナー等は使用しないこと。
- 概観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受けること。

目に入った場合
- 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。目をこすらないようにすること。
- できるだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合
- 口に入れてしまった場合は、すぐに吐き出し、口内を水で良くうがいして洗浄すること。
- 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。

(応急措置をする者の保護)
- 適切な保護具(保護メがね、防護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

使用可能消化剤

水[○]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[ ]

消火方法
- このものにポリエステル(PET)を含み、火災時濃い黒煙を発生、また有害ガス(アセトアルデヒド、CO、CO3)など発生の恐れがある。
- 包装材料についても、段ボールやポリエチレンのため燃える。
- 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
- 作業の際には、適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用すること。
- 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。
- 接着剤や壁材が床等にこぼれた場合は、床等が滑りやすくなる場合もあるので注意すること。

環境に対する注意事項
- 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意すること。

封じ込めおよび浄化の方法・機材
- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- 他の包材や廃棄物等についても、関係法規に基づいて処置をすること。
- 掃き集めて回収できるものは、ほうきやバキューム等で回収し、土中埋没等地域の廃棄物処理に適した方法で処分すること。
- 大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全データシート(SDS)

取扱上の注意
- 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- 粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 換気の良い場所で取り扱うこと。
- 容器はその都度密栓すること。
- 破袋しないように注意すること。
- 付着したままの手で、眼などを触れないように注意すること。

保管上の注意
- 日光の直射を避けること。
- 通風の良いところに保管すること。
- 高温を避け、冷暗所に保管すること。
- 段ボールが湿気に弱いので、荷崩れ防止のためにも、できるだけ湿気の少ないところに保管すること。
- 接着剤は水系なので、凍結等を避けて保管すること。
- 使用済みの接着剤は皮張り防止のため、密栓して保管すること。
- 子供の手の届かない所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 :

許容濃度

シリカ

ACGIH(TLV-TWA) : 0.025mg/m^3

酸化チタン

ACGIH(TLV-TWA)99 : 10mg/m^3

日本産業衛生学会勧告値(2000年 : 1mg/m^3(吸入性粉じん)

: 4mg/m^3(総粉じん)

OSHA PEL TWA : 15mg/m^3

設備対策
- 屋内作業場で、特に粉塵が大量に発生する場合には局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具
- 作業を行なう場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具
- 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具
- 取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体の保護
- 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他の保護具

9. 物理的及び化学的性質

	[骨材]	[接着剤]
状態	: 砂と粉末の混合状態	: 液体

安全データシート(SDS)

色	: 各色	: 白色
臭気	: なし	: なし
pH	: 情報なし	: 3-5
融点	: 情報なし	: 情報なし
凝固点	: 情報なし	: 0℃(水)
沸点	: 情報なし	: 100℃(水)
引火点	: 情報なし	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし	: 情報なし
密度(比重)	: 2～3 g/cm^3	: 約1 g/cm^3
溶解度	: 不溶	: 可溶。
分解温度	: 情報なし	: 情報なし
その他	:	:

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件下では安定
避けるべき条件 : 特に情報を有していない。
混接危険物質 : 特に情報を有していない。
危険有害な分解性生物 : 強制的に塗膜を燃焼させた場合は、有害ガス(アセトアルデヒド、CO、CO3)など発生の恐れがある。
反応性 : 自己反応性なし
その他の反応性情報 : 特に情報を有していない。

11. 有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

物質名 : シリカ

がん原性
IARC : グループ1(ヒトに対して発がん性を示す)
ACGIH : A2(ヒトに対して発がん性が疑われる物質)
その他の有害性 : 安衛法第57条の2 通知対象物 No. 312

: 酸化チタン

刺激性
ヒト 300μg/3D-1 ; MILD(皮膚)
がん原性
IARC : グループ2B(人に対して発がん性がある可能性があるもの)
(2006年に3から2Bに変更された)
ACGIH : A4
変異原性
小核;マウス(生体内・腹腔内);陽性
その他の有害性 : 安衛法第57条の2 通知対象物 No. 191
: 世界保健機関 「発がん性の可能性がある」と指摘

組成物質に関するその他の有害性情報
・特に情報を有していない。

製品に関する有害性情報
・製品としての安全性試験情報を有していない。

安全データシート(SDS)

12. 環境影響情報

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

・廃壁材料、包装材料等の廃棄物は、国や都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)して処理をすること。
・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
・柱等の施工目的としていないところについた壁材は、ウエス等で特に丁寧にふき取っておくこと。
・排水を下水道パイプに流すと下水道パイプがつまる場合があるので注意すること。
・洗浄水等の排水は、凝集沈殿、活性汚泥等の処理により、清浄化してから排出する。排出に関しては、水質汚濁防止法等に従って処理をする。

汚染容器および包装

・空の包装材料は内容物を完全に除去してから処分する。
・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

共通事項

・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
・容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送

・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
・荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。

海上輸送

・船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送

・航空法に定めるところに従うこと。

国連番号　なし
指針番号　なし

15. 適用法令

・労働安全衛生法　施行令別表第9条通知対象物質　No. 312(シリカ)
・労働安全衛生法　粉塵障害防止規則
・じん肺法(石英)
・作業環境測定法(著しく粉塵が発生する場合)
・大気汚染防止法　有害大気汚染物質(優先取組 中環審答申の109　石英(結晶)

16. その他の情報

主な引用文献

・(社)日本塗料工業会編 「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」 改定初版
・(社)日本塗料工業会編 「製品安全データシート ガイドブック」 第4版 追補版
・(社)日本塗料工業会編 「MSDS用物質データベース」 第4版 追補版

安全データシート(SDS)

・化学工業日報社 「化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ」
・化学工業日報社 「労働安全衛生法(MSDS)対象物質全データ」
・化学工業日報社 「毒物及び劇物取締法(MSDS)対象物質全データ」
・化学工業日報社 「化学品別 適用法規総覧」 増補新版
・化学工業日報社 「実務者のための化学物質等法規制便覧」 改定第2版
・(社)日本塗料工業会編 「塗料原料便覧」
・化学工業日報社 MSDS用語集
・NITE[独立行政法人 製品評価技術基盤機構] http://www.nite.go.jp/index.html
・日化辞Web[独立行政法人 科学技術振興機構(JST)]
http://nikkajiweb.jst.go.jp/nikkaji_web/pages/top.html
・原材料メーカーのMSDS・SDS

[注意]

本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではありませんので、取扱には十分注意して下さい。また、新たな情報を入手した場合や従来説の訂正により内容に変更が生じることがあります。
本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者の責任において安全性の確認を行って下さい。